



## ■ 連合鳥取2026春季生活闘争 ■ 要求状況を公表

連合鳥取は「2026春季生活闘争方針」において、「全単組で要求提出は3月上旬まで、遅くとも3月末まで」を基本としています。3月13日(金)、春季生活闘争の要求状況について記者発表を行いました。内容については左記のとおりです。

### ■ 要求状況(3月13日現在)

現時点では、平均賃上げ方式(加重平均)において、賃上げ額・率ともに昨年同時期を上回っています。鳥取県においても、物価上昇分の確保にとどまらず、継続的な「人への投資」と、慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡行軌道に乗せるべく、積極的な要求を行っています。調査対象100組合のうち、賃上げ要求書を提出した組合は51組合(昨年同時期55組合)です。このうち集計可能な38組合について要求状況を集計しました。

要求書を提出した51組合のうち38組合が定期昇給と賃金改善分を合わせた平均賃上げ方式で要求し、その要求額(加重平均)は、1万8632円(7.03%)【昨年同時期1万7436円(6.84%)】でした。これは、昨年に引き続き高水準での要求となります。

99人以下組合においては1万4110円(5.11%)と、従業員100人以上の組合の要求との差がありますが、要求内容

に沿った結果が得られるように、引き続き交渉の後押しをしていきたいと考えています。要求未提出の組合においても、企業状況を注視しつつ、正規労働者、有期・短時間・派遣等労働者、組織・未組織を問わず、すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざした取り組みを進め、月例賃金の継続的な引き上げと働きがいの向上にこだわった要求を行っています。

### ■ 今後の取り組みについて

中東情勢の先行きが不透明な中、ガソリン価格については急激に高騰しています。引き続き動向について注視していく必要があります。また、今後石油価格の高騰に伴う更なるガソリン・エネルギー価格の上昇による春闘交渉への懸念もあります。連合鳥取に加盟する各組合が粘り強く交渉をして、要求に沿った結果を出すことにより県内の賃上げ機運の醸成が図られると考えます。

連合鳥取は、労働組合が果たすべき社会的責任を十分に認識したうえで、サプライチェーン



写真左から／河村正之事務局長 北畑仁史会長

【集計の概要】  
[平均賃上げ方式(加重平均額=組合員一人当たりの平均額)]

平均賃上げ方式	2026要求(2026年3月13日集計)			2025要求(2025年3月17日集計)		
	組合数 組合員数	賃上げ 要求額	賃上げ率	組合数 組合員数	賃上げ 要求額	賃上げ率
300人以上	38組合 5,815人	18,632円	7.03%	37組合 5,894人	17,436円	6.84%
	13組合 4,372人	18,977円	7.11%	9組合 3,553人	17,172円	6.61%
299人～ 100人	10組合 1,111人	18,476円	7.13%	14組合 1,870人	18,093円	7.13%
	15組合 332人	14,110円	5.11%	14組合 471人	16,759円	7.13%

※連合鳥取2015～2026春闘 要求・妥結実績の推移は次ページでご確認ください。



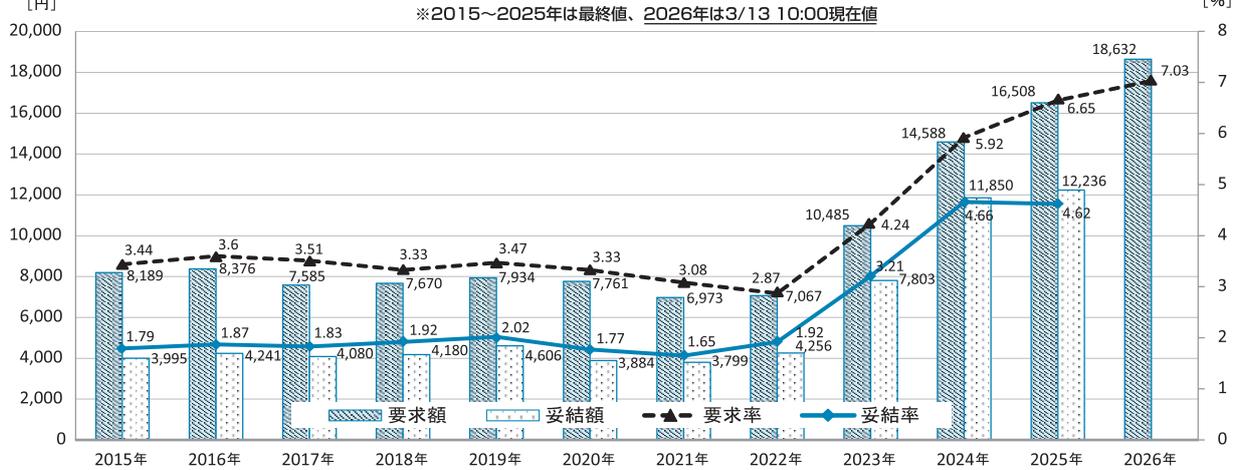
第97回メーデーポスター図案コンクール  
最優秀賞 岩竹 稚菜さん  
(情報労連 大森ユニオン 組合員)

みんなで参加しよう! 第97回鳥取県メーデー大会 4/25(土)  
“献血・フードドライブ・エコキャップ回収”にもご協力ください P4参照

賃金平均賃上方式 加重平均要求・回答・妥結

		2026.3.13現在										
年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
要求	金額 8,189	8,376	7,585	7,670	7,934	7,761	6,973	7,067	10,485	14,588	16,508	18,632
	率 3.44	3.6	3.51	3.33	3.47	3.33	3.08	2.87	4.24	5.92	6.65	7.03
妥結	金額 3,995	4,241	4,080	4,180	4,606	3,884	3,799	4,256	7,803	11,850	12,236	
	率 1.79	1.87	1.83	1.92	2.02	1.77	1.65	1.92	3.21	4.66	4.62	

連合鳥取2015~2026春闘要求・妥結実績推移 (平均賃上方式加重平均)



東部・中部・西部地域協議会 「春闘勝利総決起集会」で県内にアピール!  
【2月27日(金) 3会場で同時開催】

東部地協 / 約500人参加

JR鳥取駅前風紋広場☆デモ行進中止



大橋良輔議長あいさつ



産別決意表明 / 電機連合プロテリアル労働組合



集会アピール案提案 / UAセンシングツッドビル労働組合



会場の様子



団結してがんばろう!

中部地協 / 約300人参加

倉吉体育文化会館前駐車場☆デモ行進中止



戸羽弘樹議長あいさつ



単組決意表明 / JAM明治製作所労働組合



アピール案提案 / 私鉄総連白ツ丸自動車支部

雨の中の参加者



団結してがんばろう!

西部地協 / 約400人参加

JR米子駅前だんだん広場



傘をさしての参加



アピール案提案 / 青女フォーラム 齋木大輔委員長(左)



参加者全員で団結してがんばろう! 写真上 / 遠藤史章議長



雨の中 国際ファミリープラザ米子横までデモ行進!

すべての労働組合で春闘に取り組もう!!  
今年も公務部門春闘カンパ ありがとうございました!

3月19日(木)、自治労、全水道から、また別日に日教組と国公総連から春闘カンパ金(合計332,700円)を寄付いただきました。  
このカンパ金は、毎年、公務員関係の労働組合から民間中小地場労働組合の春闘勝利に向けお寄せいただいているものです。  
活用方法については、執行委員会(闘争委員会)で検討します。



【3月19日受け取りの様子】  
写真左から / 山本昌明鳥取支部委員長(全水道) 北畑仁史連合鳥取会長、三浦敏樹執行委員長(自治労)  
※日教組は細砂直執行委員長が、国公総連は上田陽子議長がお届けくださいました。

# 誰もが多様性を認め合い、互いに支え合う、公正な職場・社会を実現していきましょう！ —女性委員会「3.8国際女性デー」行動を実施—



## “2026春季生活闘争勝利総決起集会”でアピール行動を実施

2月27日(金)、東部・中部・西部地域で行われた「2026春闘勝利総決起集会」と連携して、集会内で、女性委員会役員が「3.8国際女性デー アピール(案)」を読み上げ、参加者全員で採択されました。



東部会場



中部会場



西部会場



■集会会場でアピール案を読み上げて提案

左から／桶本早苗委員長(電機連合) 吉田加奈副委員長(フード連合) 板垣 縁副委員長(自治労)

## 女性委員会と青年委員会による「街宣行動」を実施

「国際女性デー」である3月8日(日)、あじそうパープル店入口(倉吉市)において、15人(女性委員会役員・青年委員会役員・事務局)の参加により「街宣行動」を実施し、「3.8国際女性デー」と「2026春季生活闘争」をアピールするメモ帳・オニオンスープをセットしたグッズを配布しました。



## 「3.8国際女性デー 学習会」に67人参加

新日本海新聞社中部本社ホール(倉吉市)にて「3.8国際女性デー 学習会」を開催し、67人(男性27人:男性参画率40.3%)が参加しました。

今回は「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」や「DEIB(ダイブ)※」について学習し、その後グループワークを行い、出された課題について話し合いました。

最後に参加者全員でアピール行動を行い、学習会を終えました。

### ■講演「ハッピー・バイアス・トーク

～国際女性デーに贈る、  
気づきと対話の時間～

講師／鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
コーディネーター  
山崎 有紀子さん(右)



### ■アピール行動

参加者全員で  
アピールペーパーを掲げて  
写真撮影



※DEIBとは、従来のD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)に「Equity(公平性)」と「Belonging(帰属意識)」を加えた概念で、組織や企業が多様な人材を尊重し、公正な機会を提供しながら、従業員が心理的に安心して自分らしく働ける環境を作ることを目指す。

## 中部地協発

# 倉吉市に対し6分野にわたる「政策・制度要求」の要請を実施し 前向きな回答を受け取る！

中部地域協議会は3月2日(月)、倉吉市に対し「2026年度政策・制度要求」の要請を行いました。

要請には戸羽弘樹議長、寺田真里事務局長と推薦議員の福井康夫倉吉市議会議員が出席し、広田一恭市長をはじめ担当課長8人に対応いただきました。

冒頭、事務局長より今回の要請の趣旨説明を行い、働く人の雇用環境の改善、地域の安全確保、教育環境の整備など地域社会の持続的な発展に向けた取り組みの必要性を伝え、具体的な改善策を求めました。説明後には広田市長より各項目について現状の取り組みや課題認識について説明があり、要請内容については今後の検討課題として受け止める姿勢が示されました。

その後、3月18日(水)、要求について各担当課から丁寧な回答が届きました。

市がそれぞれの分野で取り組みを進めている様子が伝わりました。

雇用や教育、防災など、暮らしに直結する課題に対して前向きな姿勢が示されたことは大きな一歩だと受け止めています。一方で、地域の実情に照らすとまだ改善が必要な部分もありました。また、空き家対策や除雪、農業支援、学校環境の整備など、日々の生活を支える取り組みが続いていることも確認できました。地域の安心と安全を守るための防災体制づくりも着実に進んでいます。

中部地域協議会としては、働く人や地域のみなさんが安心して暮らせるまちづくりに向けて、これからも行政との対話を大切にしながらしっかりと声を届けていきます。



戸羽議長(右)より広田市長へ要請書を手交

### 一要請内容一

- ・雇用・労働政策
- ・空き家対策を含む国土・住宅政策
- ・除雪体制や道路補修、交通安全対策
- ・食料・農林業政策
- ・学校施設整備や部活動改革などの教育政策
- ・広域連携による防災体制の強化



福井議員の説明に、市職員が耳を傾ける様子

**Information** ※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。 開催日  
**4/25**  
(土)

**一緒に働く職場の仲間、ご家族・ご友人 誘いあって参加しよう! 第97回鳥取県メーデー大会**

**メインスローガン** 「対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来 真の働き方改革で、安心してらせる社会を!」

地域	中央大会(中部) / 1,000人規模	東部地域大会 / 1,000人規模	西部地域大会 / 1,500人規模
時間	・オープニングイベント 9時30分～ ・式典開会 10時00分～ ・デモ行進出発 11時20分～	・オープニングイベント 10時00分～ ・式典開会 10時20分～ ・デモ行進出発 11時35分～	・デモ行進スタート 9時30分～ ※集合 / 米子市公会堂前庭 ・式典開会 10時30分～
式典場所	エースバック未来中心「大ホール」	鳥取市民会館「大ホール」	JR米子駅前「だんだん広場」
式典内容	〈基本〉 ①開会宣言 ②主催者あいさつ ③来賓祝辞 ④来賓紹介 ⑥メーデースローガン確認 ⑦メーデー宣言 ⑧団結がんばろう	⑤祝電・メッセージ披露 ⑨閉会あいさつ	
イベント	▶オープニングイベント 打吹童子ばやし ▶お楽しみ抽選会▶プラカードコンクール ▶産別・単組協力コーナー(調整中) ▶子どもにお菓子プレゼント ▶参加者へ白バラシュークリームプレゼント ▶被災地復興支援の取り組み(調整中)	▶オープニングイベント(予定) ▶プラカードコンクール ▶参加者全員にお茶プレゼント ▶お楽しみ抽選会 ▶被災地復興支援の取り組み	▶オープニングイベント ダンススタジオ(フラpps) ▶プラカードコンクール ▶参加者に飲み物プレゼント ▶大抽選会 ▶子どもお楽しみコーナー <展示> ▶震災復興パネル展 <出店> ▶障がい福祉作業所・構成組織物販(調整中)
デモ行進	※式典終了後実施・未来中心→R179下田中町交差点→ローソン下田中交差点→丸倉倉庫東町交差点→県美交差点→ふれあい広場	※式典終了後実施 ・メーデー会場(鳥取市民会館)→JR鳥取駅前(花時計前)	※式典開始前に実施 ・米子市公会堂→米子駅前だんだん広場
その他	① メーデー精神継承資料の配布(プログラム掲載) ② 「エコキャップ回収BOX」の設置 ③ 狭山事件の再審を求める運動チラシ配布 ④ 「フードドライブ」特設ブースの設置(地協を通じてチラシを各単組へ配布します) ⑤ ワークルールクイズの実施(解答用紙回収BOXを各会場に設置します)		※「メーデー献血」各地域協議会より要請します。



**“ザ・議員”**

さかの けいさぶろう  
**坂野 経三郎** 鳥取県議会議員

3月4日(水)の鳥取県議会民主とっりの代表質問には、多くの傍聴者にお越しいただき、132席では足りず追加の椅子を出すほどの関心をいただきました。

質問は14項目にわたり、連合鳥取のみなさんとも意見交換を重ね、賃上げ対策にも取り組みました。春闘が本格化するなか、企業規模による賃上げ格差が拡大しています。中・小規模事業者やそこで働く人の声に耳を傾け、実効性ある支援策を求めました。知事は、多様な現場の実情に応じた対策の実施を約束されました。

- 一質問項目と【指定答弁者】一
- 1 第51回衆議院議員総選挙について【知事】
  - 2 国と県の財政運営について【知事】
  - 3 賃上げ対策について【知事】
  - 4 医療政策について【知事】
  - 5 食を守る【知事】
  - 6 民謡文化について【知事】
  - 7 外免切替対策と職員体制について【警察本部長】
  - 8 人権尊重社会の実現について【知事】
  - 9 災害対応について【知事】
  - 10 インフラ整備について【知事】
  - 11 男女協働参画について【知事】
  - 12 AIの活用と人材育成について【知事、教育長】
  - 13 不登校について【知事、教育長】
  - 14 子どもの施設について【知事、教育長】



議会の様子

LINE公式アカウントを始めました!是非とも登録をお願いします。

いとう  
**伊藤 ひろえ** 米子市議会議員

日頃より、働く者の生活向上と地域活動への多大なるご支援に深く感謝申し上げます。

物価高騰が続く中、生活の基盤である「食」や「住まい」に不安を抱える世帯が増えています。私はこれまで、こども食堂や居住支援の現場で、制度の狭間に置かれた切実な声に向き合ってきました。今、必要とされているのは、支援される側・する側という垣根を超え、誰もが役割を持ち、共に支え合う「地域共生社会」の実現です。

労働者協同組合(労協)\*の普及を通じ、一人ひとりが主役となり、誇りを持って働ける米子市をみなさまと共に創り上げたいと考えます。支え愛の風を、現場から吹かせていきましょう。



安心して子どもを産み育て、働き続けられるまちへ

※労働者協同組合とは(厚生労働省HPより)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_14982.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_14982.html)  
労働者協同組合とは、組合員が出資し、それぞれの意見を反映して組合の事業が行われ、組合員自らが事業に従事することを基本原理とする組織です。

オリンピックやWBCといった大きなスポーツの祭典が終わった。笑顔も涙もあって、本当にたくさん感動をもらった。そんな中で、ふと自分の息子は小学二年生からずっと野球を続けて、気づけばもう大学四年生。この春のリーグ戦で引退すると聞いて、よくここまでがんばったなあと思う。休みの日は練習や試合に付き合っていて、家族みんなが野球中心の生活だったけど、あの時間は本当に楽しかった。むしろ親の方が楽しませてもらっていたくらい。娘も一月に結婚して、新しい生活をスタート。子どもたちがそれぞれの道を歩き始めている姿を見ると、嬉しさとちょっととした寂しさが入り混じる。でも、ここまで育ってくれたことが何よりありがたい。笑ったり、悩んだり、忙しく走り回ったり、いろんな思い出をくれたのは子どもたちのおかげ。本当にありがとう。(ゆたか)



**てんてんてんてん**